

邸宅の本質的価値と構成要素

■本質的価値

邸宅が立地する敷地の歴史や、建築的特性など邸宅が有する客観的事項を“**邸宅の本質的価値**”として整理し、当該価値を踏まえ、保存活用の方針等の検討を進める。
具体的には、本邸園の基本計画や邸宅の調査結果より、「**場**」及び「**建築**」の観点から“**価値**”を整理する。

■場としての価値

邸宅が立地する敷地の歴史、景観、周辺環境等の観点から、邸宅を取り巻く特性を整理

● 伊藤博文が本邸を構えたことで政界の奥座敷として発展した歴史を有する場

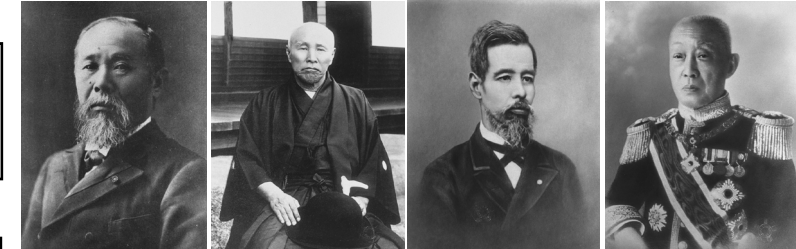
初代内閣総理大臣を務めた伊藤博文が滄浪閣を建設したことが契機となり、大磯が政界の奥座敷として発展した歴史を有する場であり、大隈重信、西園寺公望及び陸奥宗光という立憲政治の確立等に重要な役割を果たした「人物」にゆかりのある邸宅が、集中して残されている希有な場となっている。

● 邸宅と庭園、歴史的景観が一体となった佇まい（風致）が遺る場

建築当時の技術の粋を集めた邸宅は、白砂青松の景観を活かした庭園、こゆるぎの浜辺や東海道の松並木等の歴史的景観と一体となって、積層する歴史を今日に伝える佇まい（風致）を遺しており、湘南の邸園文化を象徴する歴史的遺産となっている。

● 様々な時代の海浜別荘建築が一同に立地する場

明治期から昭和初期に至る様々な時代に建てられた和風、和洋折衷、洋風の別荘建築が立地しており、いずれも海を臨む配置は明治期から変わらず、海浜別荘地として発展した大磯の歴史を物語る場となっている。



伊藤 博文 大隈 重信 陸奥 宗光 西園寺 公望
(国立国会図書館提供)



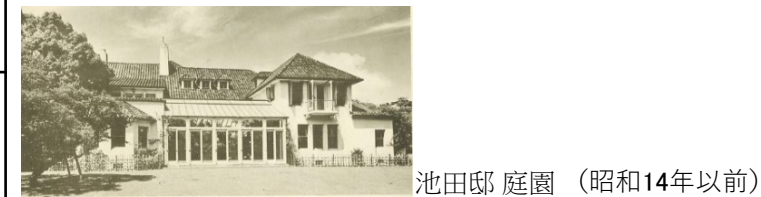
■建築としての価値

邸宅の有する歴史と、構造、技法、材料及び学術資料等の建築的観点から、邸宅が有する特性を整理

邸宅名	価値
旧滄浪閣 (伊藤博文邸跡・旧李王家別邸)	<p>○ 伊藤博文にゆかりのある李王家の別邸として唯一現存する和洋折衷建築</p> <ul style="list-style-type: none"> 本邸宅は、伊藤博文が本邸としていた場に、伊藤と関わりの深い李王家が関東大震災後に建てたものであり、現存する唯一の李王家の別邸である。 シンメトリックな外観の洋室と和室を併せ持ち、耐震性に配慮したと考えられる構造などは、大正期の建築技術を今に伝える建造物であり、“滄浪閣”という名称が伊藤邸時代から今日まで受け継がれ、伊藤邸と同様、和洋折衷建築である。
西園寺公望別邸跡 ・旧池田成彬邸	<p>○ 西園寺公望から譲り受けた場所に建つ、西洋式の生活様式を採用した本格的な洋館建築</p> <ul style="list-style-type: none"> 本邸宅は、西園寺公望が別邸としていた場に、西園寺から譲り受けた池田成彬によって建てられたものであり、生活空間の全てが洋式といった昭和初期としては数少ない本格的な洋館建築である。 曾禰中條建築事務所の設計によるもので、洋館だけでなく門扉や付属屋等を含む屋敷構えも創建時の姿をよく留めており、鉄筋コンクリートの堅牢な造りの邸宅は、附属屋を含め昭和初期の建築技術を今に伝える建築である。
旧大隈重信別邸 ・旧古河別邸	<p>○ 大隈重信が所有し、大磯が別荘地として最も発展した時代の海浜別荘建築</p> <ul style="list-style-type: none"> 本邸宅は、明治期に大隈重信が別邸としていたものであり、その後古河家が購入し、増改築を施したものの、明治期の主要構造等が残されていると推定される。 神代杉等の厳選された良質材が各所に使用されており、現存する大隈重信の別荘であるとともに、大磯が明治期に別荘地として最も発展した時代の海浜別荘建築が今に残されている。
陸奥宗光別邸跡 ・旧古河別邸	<p>○ 陸奥宗光から譲り受けた場所に建つ、近代における瀟洒な数寄屋風の海浜別荘建築</p> <ul style="list-style-type: none"> 本邸宅は、陸奥宗光が別邸としていた場に、陸奥から譲り受けた古河家により、関東大震災後で倒壊した陸奥別邸の原型を一部踏襲して改築されたものであり、昭和初期の創建時の姿をよく留めている。 葛西田中建築事務所の設計によるもので、海浜での遊楽に配慮した造りや、瀟洒で静閑な数寄屋風の佇まいは、昭和初期における上質な和風の海浜別荘建築である。



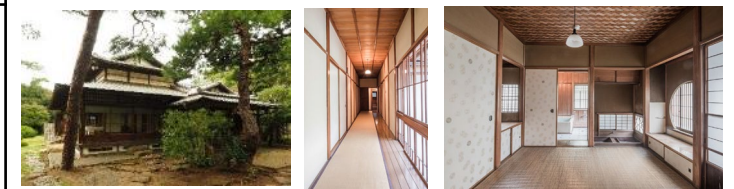
旧滄浪閣（伊藤邸跡・旧李王家別邸）



西園寺別邸跡・旧池田邸 池田邸 庭園（昭和14年以前）
出典：中條建築事務所『曾禰達蔵・中條精一郎建築事務所作品集』池田氏大磯別邸.1939



旧大隈別邸・旧古河別邸



陸奥別邸跡・旧古河別邸

■ 構成する諸要素

明治記念大磯邸園の邸宅を構成する諸要素を、「本質的価値を構成する諸要素」と「本質的価値を構成しない諸要素」の二つに分ける。

「本質的価値を構成する諸要素」は、邸宅（住居）として利用された時代の範囲とする。

「本質的価値を構成しない諸要素」は、商業利用等を理由に後年に設けられたもので、本質的価値に直接関わりのない範囲とする。

なお、「調査中の諸要素」は、建築年代等が不明のため、現在、調査中の範囲であり、今後の調査結果により、本質的価値の有無を判断し分類する。

明治記念大磯邸園の邸宅を構成する諸要素

(1) 本質的価値を構成する諸要素

・ 邸宅（住居）の範囲

旧滄浪閣 (伊藤博文邸跡・旧李王家別邸)	旧大隈重信別邸・ 旧古河別邸	陸奥宗光別邸跡・ 旧古河別邸	西園寺公望別邸跡・ 旧池田成彬邸
旧李王家別邸の範囲 (下図参照)	主屋	主屋	主屋及び車庫、 ポンプ小屋

当初範囲



旧滄浪閣(伊藤邸跡・旧李王家別邸)

旧大隈別邸・旧古河別邸

陸奥別邸跡・旧古河別邸

西園寺別邸跡・旧池田邸※1

(2) 本質的価値を構成しない諸要素

・ 後年、商業利用等を理由に増築された範囲

旧滄浪閣 (伊藤博文邸跡・旧李王家別邸)	旧大隈重信別邸・ 旧古河別邸	陸奥宗光別邸跡・ 旧古河別邸	西園寺公望別邸跡・ 旧池田成彬邸
H4以降建築の商業 施設、設備	—	—	—

H4以降建築の商業施設



旧滄浪閣(伊藤邸跡・李王家別邸)

調査中の諸要素

・ 調査中のため不明点のある範囲

旧滄浪閣 (伊藤博文邸跡・旧李王家別邸)	旧大隈重信別邸・ 旧古河別邸	陸奥宗光別邸跡・ 旧古河別邸	西園寺公望別邸跡・ 旧池田成彬邸
S27～52年代建築の 商業施設	土蔵、物置小屋	—	釜場、洗い場

S27～52年代建築の
商業施設



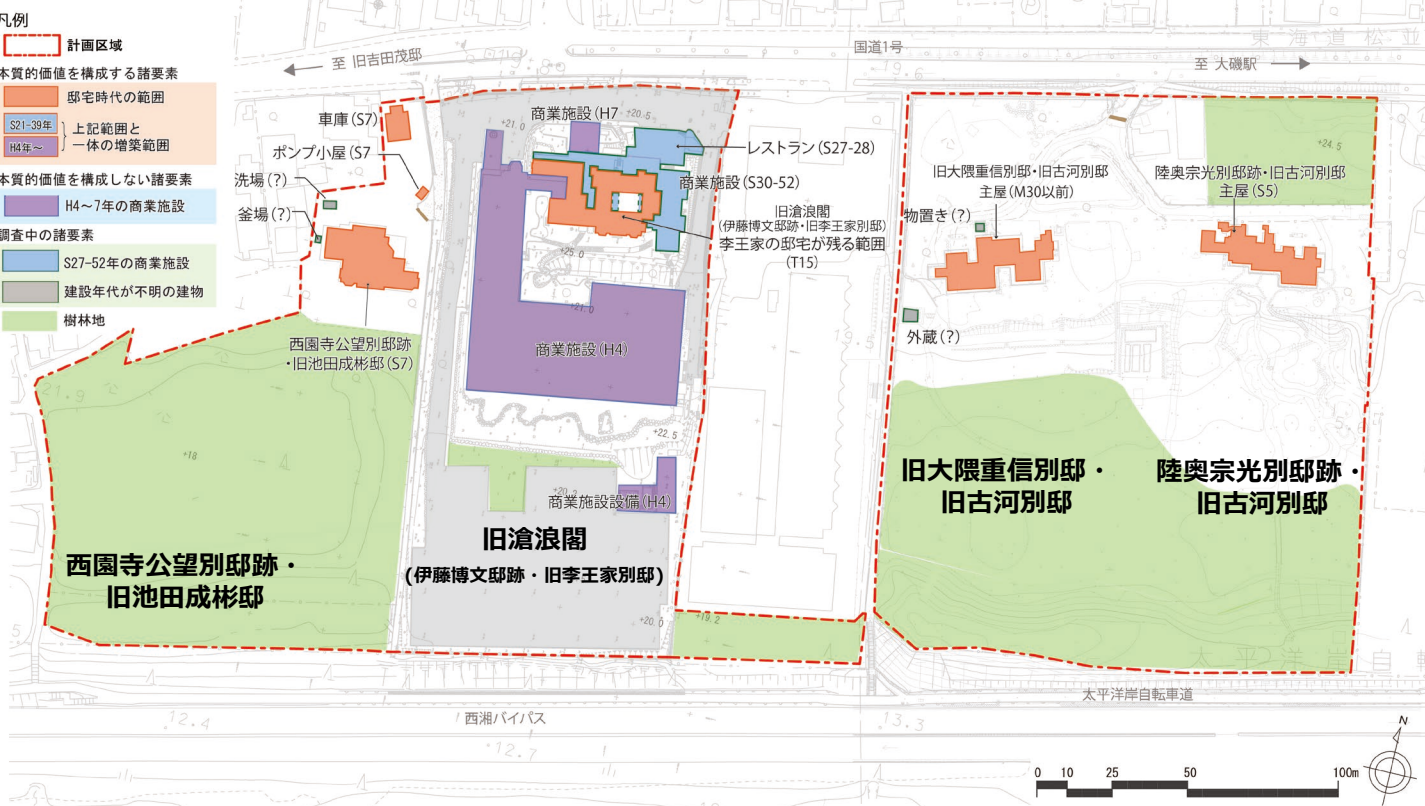
旧滄浪閣
(伊藤邸跡・旧李王家別邸)

土蔵



旧大隈別邸・旧古河別邸

物置小屋



※1 出典: INAX REPORT No.167(2006年7月)「特集1生き続ける建築—1 曾禰達蔵」